

インフルエンザ流行開始

都内のインフルエンザ定点医療機関からの第 49 週（12 月 3 日から 12 月 9 日）の患者報告数が 1.57 人/定点となり、流行開始の目安となる定点あたり 1.0 人を超えました。最新の情報では第 51 週（12 月 17 日から 12 月 23 日）の患者報告数が 7.79 人/定点と急増。当院が含まれる多摩府中保健所管内では 9.94 人/定点と都内でも高い数となっています。これから 1 月下旬から 2 月の中旬にかけて流行のピークを迎えると考えられます。すでに院内では全職員のマスク着用義務を開始していますが、外出先でもマスクを着用する等、各自で感染予防に努めましょう。

39～56 歳男性の風疹ワクチン接種が無料化される ことが発表されました

この ICT ニュースでも何度か紹介したとおり、今年は風疹が流行し 50 週（12/10～12/16）までに全国で 2713 人の報告がありました。これは全数報告開始以降 2 番目の数字で去年の 31 倍です。これを受けて厚生労働省は 2019～2021 年度末の約 3 年間にかけて、これまで風疹の定期接種を受ける機会のなかった昭和 37 年 4 月 2 日～昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性（現在 39～56 歳）を対象に、風疹の抗体価検査を前置きした上で、定期接種を行う事を発表しました。これにより全国で原則無料で受けられることになります。具体的なスケジュールなどが決まりしだいお知らせする予定です。

三鷹市では現在、妊娠を予定または希望する女性とその同居者（性別を問わない）と妊婦の同居者（性別を問わない）を対象として抗体価検査を無料で行っています。また、抗体価検査で抗体が不十分とされた方は予防接種費用の一部助成を受けることができます。（麻疹風疹混合ワクチンは 5000 円、風疹単抗原ワクチンは 1745 円の自己負担で接種可能。詳しくは三鷹市までお問い合わせください）三鷹市と同様の施策を各自治体でも行っていますので、お住いの自治体にお問い合わせください。

対象となっている方はこの機会に抗体価検査や予防接種をおこなうことをお勧めいたします。

感染症コラム ～インフルエンザウイルスとインフルエンザ菌～

「インフルエンザ患者が出ました！」病棟から連絡があり話を聞くと痰培養からインフルエンザ菌が検出されたとのこと。冬に猛威を振るうのはインフルエンザウイルスの方で、培養検査では検出されません。実はインフルエンザウイルスとインフルエンザ菌は全くの別物です。インフルエンザ菌は 1800 年代の大流行の際にインフルエンザ患者の喀痰より発見され原因菌と誤認されてインフルエンザ菌と命名されました。その後、真の病原体はウイルスであることが判明しましたが、この菌が呼吸器の感染をひき起こすので菌名が残されました。

インフルエンザ菌は健康な人の上気道に常在していて、時に気管支炎や肺炎を引き起こします。5 歳未満の小児が発症すると髄膜炎を引き起こすとされ、定期予防接種の対象となっています。（ヒブ（Hib）ワクチン）